

日本森林学会誌に掲載された学術論文のデータの公開に関する基本方針

日本森林学会誌編集委員会

1. データの公開

日本森林学会誌（以下、日林誌という。）に掲載された学術論文（原稿種別の論文，総説，短報，その他を含む。以下同じ）の著者は、当該学術論文の元となったデータを国立研究開発法人科学技術振興機構が運営するデータリポジトリ（J-STAGE Data）で公開することができる。公開されたデータには DOI が付与される。

2. データの帰属

他者が著作権を有しているデータを除き、データは当該学術論文の著者あるいは著者の所属する機関に帰属する。

3. 公開対象とできるデータ

公開の対象とできるデータは以下のものとする。

- ・ 当該学術論文で用いた、調査・観測・実験・分析で得られた数値等を表などの一般的な形式でまとめたデータ
- ・ 当該学術論文で用いた、あるいは当該学術論文に掲載した写真、グラフ、静止画像、動画など
- ・ 当該学術論文で発表したソフトウェアのコードや実験・解析・調査のプロトコルなど
- ・ 既往論文や公刊図書等を示された数値情報、国や自治体等が公表している資料の数値を著者が引用して集約・整理し、当該学術論文に供したもの

4. 公開対象とできないデータ

個人的なメモ、研究ノート、研究日誌、研究グループ内の打ち合わせ議事録、一時的な情報、有体物（試料、標本、作品・収蔵品など）などのデータは公開対象とならない。

5. データの公開条件

データの公開条件等については、当該学術論文の著者が所属する大学・機関等にデータポリシーがあれば、あるいは共同研究等の契約においてデータの公開に関する取り決めがあれば、著者はそれを遵守する。データのライセンス（第三者による利用条件）はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス（Creative Commons license）の CC BY-NC-ND 4.0（公開された論文データを使用する場合は非営利目的に限定し、改変は認めず、成果を発表するときはクレジットを明記する）を標準とする。ただし、著者は他のクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを選択することができる。

6. データの搭載・審査

著者は公開したいデータを日林誌編集委員会から指定された方法により J-STAGE Data にデータ本体をメタデータとともにアップロードする。日林誌編集委員会は、アップロードされたデータのメタデータの内容及びデータの形式面を審査し、必要に応じて著者に修正・再アップロードを指示する。データ本体の内容については著者または著者の所属する大学・機関等が責任を有する。

7. データ公開のスケジュール

データは当該学術論文のオンラインでの公開と同時に公開される。なお、著者は上記「5. データの公開条件」に、さらに長期の非公開期間を設定することができる。

8. 改変された付図・付表の公開

著者は当該学術論文の付図、付表も改変した上で J-STAGE Data に公開することができる。ただし、同一の内容を両者で公開することは出来ない。

9. その他

その他仔細については、著者は日林誌編集委員会の指示および国立研究開発法人科学技術振興機構の定める J-STAGE Data データポリシーに従う。

2021 年 4 月 26 日 制定

2024 年 4 月 22 日 改定

2025 年 5 月 28 日 改定